

平成25年度豊橋市行財政改革プラン公開プレゼンテーション外部検証委員会意見に対する各課の対応について

資料2

テーマ	所管課	外部検証委員会の意見	外部検証委員会の意見を受けての今後の取組について
「のんほいパーク100万人プロジェクト」の仕組みづくり	動植物公園 自然史博物館	1.のんほいパークの存在が広く周知されるよう、効果的なPR方法についての更なる工夫を期待する。 2.豊橋の玄関口である豊橋駅を起点とした遠方からの客の取り込み方法について検討されたい。	1.について ホームページのリニューアルやフェイスブック及びツイッターでの情報発信をさらに強化するとともに、テレビ・映画などの誘致により露出を増やし、認知度の更なる向上を目指したい。また、新東名浜松サービスエリアにおいて動画を使ったPRを新規に行い、広域からのマイカー利用者の誘客を図る。 2.について 豊橋駅構内に本園への案内や本園のPRに関する看板などを設置できるよう検討する。
豊橋農業を活性化するための農産物ブランド化の取組	農業企画課	1.戦略3品目のインパクトを高めるための工夫や、プロモーション内容の再検討に努められたい。 2.「豊橋野菜」としてプロモーションを展開していくことについて検討されたい。	1.について 戦略3品目のインパクトを高め、より効果的なプロモーションの実施を目指し、新たな商品開発に向けた活動に対する支援を検討していく。 2.について 「京の伝統野菜」、「加賀野菜」など知名度が高く、イメージが定着した地域名を冠した名称はいくつかある。しかしながら、現状では「豊橋」の地域名にそれらに匹敵するほどの力がないと認識している。現在は「豊橋」の知名度を上げながら農産物の良さも合わせて訴える活動を行っている。指摘の内容については今後の課題ととらえ、活動していくこととする。
観光資源のPRに向けた関係団体との連携強化	観光振興課	1.観光目的(地域経済活性、文化・伝統の継承、まちのにぎわい創出など)を明確化するよう努められたい。 2.人を呼び込む効果的な情報発信について検討されたい。	1.について 市外からの来訪者の拡大による地域経済及び市民意識の活性化を目的に、観光資源の発掘及び磨き上げに取り組む。 2.について インパクトのある観光資源を柱に、首都圏展開やHP・SNS活用による印象度の高い情報発信に取り組む。
災害時の情報収集・発信の充実	防災危機管理課	1.市の情報収集力強化のため、いち早く民間から情報を受ける体制づくりが重要である。 2.災害情報ステーションの登録事業者数が膠着している現状をやむを得ないと捉えるのではなく、中小企業とのパートナーシップや事業所以外の人を取り込むなどの対策について、検討されたい。	1.について ステーションの有効活用の再検討と、ステーションの職員との連携強化、連絡訓練の実施により、情報伝達体制の強化を図る。 2.について 現在の取組内容の強化を図ったうえで、登録事業所の増加の取組みを図っていきたい。
「住みよい暮らしづくり計画」の推進と市民協働に関する職員意識の醸成	市民協働推進課	1.市民協働を推進するための、地域リーダーの育成、職員によるフォロー体制の強化といった体制づくりの推進に努められたい。 2.行政主導から地域住民が自律的にまちづくりを行えるよう、具体的な道筋を検討されたい。	1.について 地域におけるまちづくりのリーダーである自治会および各種団体の役員を対象に「まちづくり講習会」を継続実施していくほか、職員向けには従来の座学研修だけではなくワークショップや市民活動の現場体験研修といったより実践的な研修を実施して、職員によるフォロー体制強化を進めていく。 2.について 地域住民による自律的なまちづくりは将来目指す姿ではあるものの、現状では役員のなり手不足の問題や自治会と各種団体との連携・役割分担という面で環境が整っておらず、「住みよい暮らしづくり計画」作成に各校区が順次取り組んでいくことで組織体制づくりやノウハウを蓄積するとともに、上記「1.について」に記載の取組を推進していくことで、地域住民による自律的なまちづくりができる環境を整えていく。

テーマ	所管課	外部検証委員会の意見	外部検証委員会の意見を受けての今後の取組について
公共施設老朽化への対応	FM推進室	<p>1.FM(ファシリティ・マネジメント)は市民への影響が大きいものであるが、FMの言葉自体がわかりにくいことから具体的施設を例に市民へ説明するなど情報提供に努められたい。</p> <p>2.FMの推進にあたり、施設だけでなく、道路や橋梁・公園なども含め長寿命化や改修計画を着実に進められるよう期待する。</p>	<p>1.について 市民にFM(ファシリティマネジメント)について理解を深めてもらうため、推進基本方針を始め、取組内容をホームページで積極的に公開している。 また、昨年度末には、市民の意識等を調査するため、FM推進に向けた市民アンケート「公共施設の利用状況や満足度に関する調査」を実施し、結果の公表について検討中である。 なお、来年度のホームページリニューアルに伴い、市民に身近で、より分かり易い情報提供ができるように努めていく。</p> <p>2.について 現在策定中の施設保全計画は、公共施設を対象としたものであるが、全庁的な視点で取り組んでいく必要があることから、インフラについては、それぞれ長寿命化計画や整備計画などを策定し、維持管理や点検業務を進めていく。</p>
地域が主体的に取り組む健康のまちづくり事業の推進に向けた支援	健康増進課	<p>1.「健康になるとこんなに良いことがある」という具体的な指標等を示し、参加校区の拡大とともに、参加者数の増加に努められたい。</p> <p>2.少しずつ主体を行政から市民へ移行できるよう努められたい。</p>	<p>1.について 健康のまちづくり事業は、個人だけでなく地域で取り組む事で、継続して健康づくりに取り組むことを目指しており、健康になれば医療費の軽減や、健康寿命の延伸にもつながる。自治会だけでなく、既存の団体やグループ、既に他課で関わっている校区にも働きかけ、また地域の実情に沿った魅力や意義のあるイベント等を企画し、周知方法等再度検討し、より多くの校区・市民が参加できるように取り組んでいきたい。</p> <p>2.について 健康のまちづくり事業の中で、ヘルスポランティア養成講座やスキルアップ教室を充実させ、人材育成等を行い、主体的に活動できるよう支援していく。</p>
自主的な耐震化への支援と市民意識の醸成	建築指導課	<p>1.耐震化が必要な建物約2万2千棟に対して、このままでは完了するには相当の年数が必要であることから、いつまでにどのようにするのか、財政的な面を含めた計画策定・終期設定が必要である。</p>	<p>1.について 本年度、現在までの耐震化の進捗状況・既存施策の効果を確認し、建築物耐震改修促進計画の見直しを実施している。この計画の見直しの中で、今後の耐震化施策について検討し、国の「新成長戦略(平成22年6月18日閣議決定)」にある平成32年度の住宅の耐震化率95%を実現できるよう検討していく。</p>
学校給食における民間活力の導入	保健給食課	<p>1.豊橋市はPFIによるコスト削減効果が出ており、委託化することで調理員の雇用期間を限定できるなどのメリットもあることから、職員の配置転換に対して留意しつつ、民間活力の導入を進められたい。</p>	<p>1.について 25年9月より南部調理場調理業務を民間委託した。 引き続き、PFI方式、直営方式など比較検討を進める中で、今後の方向性を決定していきたい。</p>
多様なメディアを活用した広報活動の推進	広報広聴課	<p>1.多くの市民が関心を持つきっかけとするため、SNSのロコミ効果などを認識する中で、豊橋市を全国へ発信して欲しい。</p> <p>2.どんなに情報の伝達手段が発達しても、パソコンや携帯電話などを利用していない市民がいることから、その配慮もすべき。</p>	<p>1.について 幅広い分野での情報収集に努め、豊橋の魅力をタイムリーに発信していく。</p> <p>2.について 引き続き、紙媒体をはじめとした多様なメディアを活用し、情報提供に努める。</p>